

2月1日：コロナ感染拡大懸念で下落

月曜日は後場にコロナの感染拡大懸念から売り圧力が高まり、大型株を中心に下落した。ホーチミン取引所のVN指数は2%下落し1,035.1ポイントで引けた。同市場の出来高は6億34百万株、売買代金は13.7兆ドンだった。

前日の反発を受けて上昇に転じる場面もあったが、コロナの拡大懸念が広がると指数は下落に転じたとBIDV証券は述べている。流動性も低下し、投資家のスタンスもまちまちとなり、市場の雰囲気も重苦しくなったことで、売りのトレンドが強まっていることが示された。

VN指数の動向は当面はコロナの拡大に左右されるだろう。もし拡大が抑えられれば1,100ポイントを再び試すだろうが、そうでなければ1,000ポイント近辺に戻りそうだとBIDV証券は見ている。

ホーチミン取引所では外国人投資家は1,805億ドンを買い越した。主な買い越し銘柄は、ホアファット (HPG)、ビナミルク (VNM)、ビンコムリテール (VRE)などとなっている。ハノイ取引所でも72億ドンの買い越しとなった。

バオベト証券は2週間の調整を経て、今週は上昇すると見ている。VN指数は1,085～1,100ポイントの抵抗線に向かっている。しかしながら、同社は反発の局面で短期的な乱高下の可能性を警告している。

大型株で構成するVn30指数は1.76%下落し、1,029.86ポイントで引けた。

VN30 指数を構成する 30 銘柄のうち、26 銘柄が下落したのに対し、上昇したのは 4 銘柄のみだった。

バオベト・ホールディングス (BVH)、ペトロベトナムガス (GAS)、ホアファットグループ(HPG)、マサングループ(MSN)、ビンググループ(VIC)、フーニャンジュエリー (PNJ)、ビンコムリテール(VRE)、ビンホームズ(VHM)、モバイルワールド (MWG)、ベトコムバンク(VCB)、ビナミルク(VNM)、サベコ (SAB)など多くの大型株が売られた。

アジアコマーシャルバンク(ACB)、ミリタリーバンク (MBB)、VP バンク (VPB)、HD バンク(HDB)、テックコムバンク(TCB)などを含む銀行株も下落した。

コテコン建設(CTD)、サオマイグループ(ASM)、ダットスアングループ (DXG)、フェコン建設 (FCN)、ホアビン建設 (HBC)、キンバックシティ(KBC)、LDG 投資(LDG)などの不動産株も売り圧力にさらされた。

ハノイ取引所では、HNX 指数は 2.51%下落し 208.85 ポイントで引けた。

出来高は 1 億 1,580 万株、売買代金は 1.7 兆ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。